【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【公開番号】特開2000-197626(P2000-197626A)
【公開日】平成12年7月18日(2000.7.18)
【出願番号】特願平11-236346
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/03　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/41　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/03　３２１Ａ
Ｈ０４Ｎ　1/41　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月25日(2008.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 符号化イメージング・データを作成するように構成された送信器、前記符号化イメージング・データを復号して補正するように構成された受信器、及び回転ガントリー部分と固定ガントリー部分との間で前記符号化イメージング・データを交換する為に前記送信器と前記受信器との間に結合されたＲＦスリップリングを有する、物体を走査するためのイメージング・システムにおいて、
前記システムは複数の指令コードと、複数のデータブロックとＳＹＮＣデータを備える符号化データを送信するように構成されており、
前記データは少なくとも１つのデータ・ビューを含み、
前記複数の指令コードは、送信機に使用され、データ・ビューの開始を示し、
各々のデータ・ビューは前記送信器により分割され、符号化メッセージ・データとなり、
前記システムは更に
前記スリップリングを用いて前記符号化メッセージ・データを前記送信器から前記受信器に伝送し、
前記受信器と前記送信器とを同期させるために前記ＳＹＮＣデータを利用し、
受信した前記メッセージ・データを復号することを前記指令コードを用いて前記受信器に開始させ、
前記受信器を用いて受信した前記メッセージ・データの誤りを補正するように構成されているイメージング・システム。
【請求項２】 前記符号化データを伝送する為、前記イメージング装置が前記符号化イメージング・データを前記送信器から前記受信器へ非同期的に伝送するように構成されている請求項１記載のイメージング装置。
【請求項３】 データ・ビューの開始を示す為に、指令コードの群を作成するように構成されている請求項１記載のシステム。
【請求項４】 ゼロ・メッセージ・ブロックを作成するように構成されている請求項２記載のシステム。
【請求項５】 前記受信器と前記送信器とを同期させる為に、受信器２０２は、選ばれた数のバイト毎にデータを受信するのを停止して、前記符号化データの前記ＳＹＮＣデータを確認するように構成されている請求項４記載のシステム。

【請求項６】 前記メッセージ・データを復号することを開始させする為に、前記指令コードを復号するように構成されている請求項２記載のシステム。
【請求項７】 前記前記符号化メッセージ・データを伝送する為に、前記送信器はＣＲＣデータを作成するように構成されており、前記メッセージ・ブロックを復号する為に、前記ＣＲＣデータを復号するように構成されている請求項６記載のシステム。
【請求項８】 前記復号イメージング・データの誤りを補正する為に、受信ＣＲＣデータを作成し、前記ＣＲＣデータが前記受信ＣＲＣデータに等しいかどうかを判定するように構成されている請求項７記載のシステム。
【請求項９】 ＣＲＣデータを作成するように構成されている請求項１記載のシステム。
【請求項１０】 前記メッセージ・ブロックの長さが１３６バイトであり、前記ＣＲＣの長さが１５バイトである請求項９記載のシステム。